

# 11月の野菜の見通し

令和4年10月31日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント***
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	11,607	多い	11,730	55	100%	75	17	0.1%	上旬は青森産が終盤で減少。中旬から増量となる千葉産は台風等の被害なく作柄良好。10月までは北日本産が大雨等の影響から少なく高値基調だったが今後は潤沢な出回りとなり相場は下落の気配。予想入荷量は前年・平年並み～やや多い。見通し単価は前年並みも平年を2割以上に下回る。
はくさい	15,781	並み	15,527	42	119%	55	5	0.0%	長野産が上旬で数量収束。茨城産は生育順調で中旬には潤沢な出回りに。予想入荷量は前年・平年並み。見通し単価は前年を上回るも平年比ではやや下回る。
キャベツ	15,458	並み	15,072	68	103%	80	4	0.0%	群馬産が上旬で切り上がり相場底上げの予想も、千葉・愛知産はともに生育順調で全体量は十分にある見通し。予想入荷量は前年・平年並み。見通し単価は前年並みも平年を1割下回る。
ほうれん そう	1,826	並み	1,448	391	102%	563	4	0.2%	群馬・茨城産は小松菜からの転作で作付増。10月下旬は価格がこなれて荷動き良好で11月に入ると相場上向くも、中下旬は関東産が一度目のピークを迎えて相場は反落の気配。予想入荷量は豊作だった前年をやや下回るも平年以上。見通し単価は前年並みも平年を2割下回る。
ねぎ	5,395	並み	5,289	228	140%	305	301	5.6%	北海道・東北産が終盤に向かい漸減。茨城産が増えてくるも北日本産の減少を補えるほどの数量はなく、下旬は相場上昇か。予想入荷量はやや多かった前年を下回るも平年並み。見通し単価は前年を大きく上回り平年比でもやや上回る。

# 11月の野菜の見通し

令和4年10月31日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント***
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	5,191	並み	4,906	297	111%	362	25	0.5%	高知・宮崎産はやや遅れているも増量し、中旬には最初のピークを迎えて相場軟化の気配。現状、曇雨天により出方は鈍いが天候が安定すれば順調な出回りとなろう。予想入荷量はやや多かった前年を下回り平年並み。見通し単価は前年を下回るも平年をやや上回る。
トマト	4,479	並み	4,770	512	88%	483	28	0.6%	熊本産は前年ほどの病害なく生育は概ね順調。愛知産も問題なし。千葉産で着果不良見られるものの、全体量として前年を上回り平年並みを予想。見通し単価は前年を下回り、平年をやや下回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)\*、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)\*\*、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)\*\*\*

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)